

甲斐市教育委員会第2回定例会議事録

- 1 日 時 令和7年5月29日（木）午後1時30分
- 2 場 所 甲斐市役所 新館2階 防災対策室
- 3 開 会 午後1時30分
- 4 出席者 【教育長】内藤和彦教育長
【委 員】米山祐希職務代理者 小林啓子委員
金子初男委員
【説明員】大寫正之教育部長 小田切英規教育総務課長
小山田拓也学校教育課長 大柴宏之生涯学習文化課長
樋口一朗図書館長 小野貴博学校教育指導監
広瀬修スポーツ振興課長
- 5 欠席者 千野国弘委員
- 6 傍聴人 なし
- 7 事務局 内野真理教育総務係長 古屋善之教育総務係員
- 8 議事録署名委員の指名 C委員 A委員
- 9 前回議事録の承認 令和7年度 第1回定例会議事録 「承認」
- 10 教育長からの報告
- 11 議 題
第1号 令和7年度6月補正予算（案）について
第2号 令和7年度甲斐市学校給食運営委員会委員の委嘱について
第3号 甲斐市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱等について
- 12 その他
（1）令和7年度学校基本調査結果について
（2）令和6年度末市内中学校3年生進路状況報告
（3）令和7年度学校運営協議会委員の任命について
（4）6月の行事予定について
- 13 閉 会 午後2時50分

○開 会

教育長

開会を宣する。(午後 1 時 30 分)

○あいさつ

教育長

改めまして、こんにちは。

ご出席くださいますありがとうございます。

例年実施しております市教委学校訪問が、先週 23 日（金）から始まりました。これまで同様に、学校の負担軽減を図るため、訪問人数を縮小したり、参観する学級を減らしたりする等、昨年同様に取り組みます。また、今年度は、参観する学級の滞在時間を増やすため、訪問時間の延長と特別支援学級の参観学級数を減らすなどの取り組みを行います。訪問期間は、7 月 9 日（水）までとなりますが、教育委員の皆様のご協力をお願いします。

各学校の修学旅行につきましては、中学校は予定通り終了しました。小学校も、順調に実施されており、本日も 2 校が旅行中です。6 月 4 日からの 2 校が最後となります。小中学校ともに、最高学年として、これからの学校生活にも生かせる、有意義な思い出に残る行事になっていることと思います。そのための学校での事前指導と事後指導、また、健康管理等家族の協力に感謝したいと思います。

30 日からは 6 月定例議会の一般質問の受付が始まります。教育関連での多くの質問が予想されます。各部署での適切な対応をお願いします。

ここでひとつ紹介したい記事があります。ある関東地方の市の青少年育成に携わっている人の記事です。誰一人として絶対に見捨てないという題目です。

「あいつらが戻ってきたらまた賑やかになりますよ」これは、少年院に入っている子どもの話題です。確かに刑法犯の少年の再犯率は 30%を超えているということです。当該少年たちを再犯への道へ歩ませないために、再犯の可能性を心配しながら接するということは、とても大切なことです。しかし、あの子は更生するわけがないと、我々大人が決めつけている世の中で、子どもたちが将来、希望を持って生きていこうとするのでしょうか。子どもたちが、夢や希望を持って、未来に向かって前向きに育っていくためには、周囲の大人が、彼らを信じて、たとえ失敗や過ちを繰り返しても、決して見捨てることなく、いつまでも暖かい眼差

しと言葉をかけ続けることが大切だと思います。このような思いを訴えたときに、多くの人があなたの言うことは夢みたいで理想に過ぎないと言われます。しかし、大人が夢を語らない世の中で、子どもたちが夢を持とうと思うのでしょうか。大人が理想を抱かない世界の中で、子どもたちは理想を追い求めて努力しようと思うのでしょうか。子どもは、大人の背中を見て育つと言われますが、子どもたちは自分が大人になった姿を、今の大人の生き方や行動から想像して、大人からかけられる言葉一つ一つで人格が形成されていくのではないのでしょうか。子どもたちが私たちを信じ、私たちがかける言葉を受け止めてくれるようになるためには、私たちの愛ある行動と言葉が必要です。排除やレッテルあるいは力で押さえつけることは、子どもたちの健やかな成長には繋がらないと私は思います。

青少年センターの職員が、パトロールをしている時に、深夜に徘徊して喫煙をしている未成年を見かけたことがありました。そこで、「こんばんは。もう暗いし寒いから風邪をひかないようにね。早めに帰ってね。」と声をかけると、「こんな僕たちに声をかけてくれて、ありがとうございます。」と言われたことがあります。ショックだったのは、「こんな僕たち」と言わせてしまったことです。確かに未成年が深夜に喫煙していることだけを切り取ると間違った行動です。しかし、彼らには変わるチャンスがいくらでもあります。「こんな僕たち」と言ったということは、変わりたい、本当はこれではいけないと思っている証拠ではないのでしょうか。ですから、「当たり前でしょ。心配だから。」と声をかけるようにしています。彼らの「こんな僕たち」という言葉の奥には、どうせ僕たちなんて誰にも認めてもらえないという諦めの気持ちがあったのかもしれませんが。私たち大人の役目は、どうせ僕たちなんて、と自分で自分をあきらめるのではなく、僕たちもやればできる、僕たちも世の中の役に立つという自信をつけさせることではないのでしょうか。青少年センターでは子どもたちを信じて誰一人として絶対に見捨てないという信念を持って子どもたちと向き合っていきたいとそんな記事でした。

考えさせられた記事でありました。私の地域でもおやじの会をしています。先日敷島北小を訪問した際にも、おやじの会の活動が話題になりました。おやじさんたちの意見交換では、コンビニで座っている若者に、「おう、どうした」と声をかけたときに、「おっちゃん、聞いて」と

言われるような信頼関係を築きたいという意見が多く出されています。

それでは、本日も様々な視点から意見をいただくとともにスムーズな進行にご協力をお願いしたいと思います。

○議事録署名委員の指名

教育長 議事録署名委員を指名します。C委員、A委員を指名します。よろしくをお願いいたします。

○前回議事録の承認

教育長 第1回教育委員会定例会議事録に異議のある方はいらっしゃいますか。

一 同 異議なし。

教育長 異議がないようですので、前回議事録は承認されました。会議終了後に、D委員、B委員に署名をいただきます。よろしくをお願いいたします。

○教育長報告

教育長 5月の諸報告につきまして、主なものをご報告いたします。

8日から9日にかけて、東京都北区で開催されました関東地区都市教育長協議会総会及び研修会に出席しました。関東地区とありますが、実際は関東甲信越静岡地区で278の市と東京特別区の教育長の集まりです。

14日、中巨摩地区の先生方の研究会である中巨摩春季教育研究会に出席しました。

16日には、行政連絡調整委員委嘱式及び意見交換会に出席しました。

20日には、社会教育委員・公民館運営審議会委員委嘱状交付式に出席いたしました。

21日には、長野市が運営する教育支援センター「S a S a L A N D」の視察を行いました。「S a S a L A N D」は不登校のお子さんの通える施設で、メタバース、仮想空間を使った参加もできるということで、視察をしてきました。オークルームというよりも、市の運営するフリースクールという印象です。

23日から、市教委の学校訪問が始まっています。初日は竜王中学校、竜王小学校を訪問しました。本年度は訪問時間を少し伸ばしまして、参観する学級を絞って、一学級の滞在時間を増やす取り組みを行っています。委員の皆様のご協力、また、来年度に向けたご意見がありましたら賜りたい

と思います。

本日、第2回の教育委員会が開かれております。

今後の予定ですが、明日30日には、関東甲信越静岡市町村教育委員会の連合会総会・研修会が予定されております。今日の会議の後、担当から詳しい説明があると思います。長野市の開催ということで、日帰りの日程となります。ご苦勞をおかけいたしますがよろしくお願いします。今のところ本県からは、25の市町村から140人ほどの出席が予定されています。

○議 題

第1号 令和7年度6月補正予算（案）について

教育長 それでは、議題に入ります。議題審議に入る前に、議題第1号令和7年度6月補正予算（案）につきましては、今後市議会など関係機関との協議を必要とする事項であることから、非公開とさせていただきたいと思えます。非公開とするにあたり、甲斐市教育委員会会議規則第15条の規定により、討論なしで採決を行います。委員の皆様にお諮りします。

議題第1号「令和7年度6月補正予算（案）について」を非公開とすることについて、賛成の委員の挙手を求めます。

一 同 挙手

教育長 ありがとうございました。挙手多数であります。議題第1号を非公開とすることについては、可決されました。よって、議題第1号は、非公開とします。

【ここから非公開】

教育長 非公開とした議題第1号の審議が終わりましたので、これより公開いたします。

【ここから公開】

第2号 令和7年度甲斐市学校給食運営委員会委員の委嘱について

事務局 （資料説明）

委 員 学校給食の運営委員会ですので、直接、日々学校給食に関わっていらっしゃる栄養士の先生方の代表3人ですが、竜王の小学校代表、中学校代表、敷島給食センターの代表で、双葉の給食センターが入っていないのですが、

考え方として給食センターを代表して、栄養教諭の先生がそこに入っているというふうにとれるのですが、20 人以内ということですので、双葉の給食センターの代表の方も入っていただいても良いのではと思うのですが、いかがでしょうか。

事務局

栄養士会から推薦をいただいているのですが、特に給食センターからも必ず入れようというようなことも無いのですが、この度は栄養士会の推薦で竜王西小、玉幡中、給食センターの方からも加わっていただいた構成になっています。ご指摘のとおり、そんな考え方もあるかと思いますので、また栄養士会の方には、今後、考え方の一つとして参考にしていただきたいと伝えたいと思います。

教育長

委員会として、竜王の代表とか、小学校の代表とか、センターの代表というような括りはないのですね。栄養士会 3 人ということだったと思います。様々な考え方があると思いますので、今後検討をしながらということで、メンバーの状況によっては、栄養士さんも県の役員など引き受けていると思うので、役割が平準化するようなこともあると思います。ご意見ありがとうございます。

その他、ご意見、ご質問はございますか。

一 同

意見、質問なし。

教育長

よろしいでしょうか。教育委員会が委嘱するということで、原案のとおり承認してよろしいですか。

一 同

異議なし。

教育長

ご異議なしと認めます。よって、議題第 2 号は、原案のとおり承認されました。

第 3 号 甲斐市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱等について

事務局

(資料説明)

教育長

ご意見、ご質問はございますか。

一 同

意見、質問なし。

教育長

よろしいでしょうか。こちら、教育委員会が委嘱するということで、原案のとおり承認してよろしいですか。

一 同

異議なし。

教育長

ご異議なしと認めます。よって、議題第 3 号は、原案のとおり承認されました。

○その他

(1) 令和7年度学校基本調査結果について

事務局 (資料説明)

委員 昨年もおそらく言ったと思うのですが、竜王幼稚園というのは、定員が160人のところ、9人の在園数ということで、非常に小規模になっています。小規模であっても、竜王地区の子どもが通うには、利便性もあるし、必要であるということだと思うのですが、よく小学校なども非常に人数が少なくなっても、地域の学校ということで存続をさせているところもありますけれども、この竜王幼稚園についてはどのような考えでしょうか。

教育長 公立の幼稚園であれば、私どもも意見が述べられるのですが、私立の園なので、この場では控えたいと思います。

委員 公立ではないのですか。この上にある3つの幼稚園は全て私立幼稚園ですか。

教育長 そのとおり、私立です。

委員 そうですか。では、下にある認定子ども園もすべて私立ですね。私は、公立かと思っていました。

教育長 経営など、この場でコメントするのは控えたいと思います。

委員 小学校、中学校の増減率ですが、増減率で一番高いのが6.7%で玉幡小学校ですね。逆に一番増減率が低いというか、減っているところがマイナス9.1%で玉幡中学校です。同じ地区で中学校の方は大幅に減っているのですが、小学校の方は増えているようですが、偶然なのでしょうか。傾向として何か見えてくるようなものはあるのでしょうか。

教育長 考えられることとすれば、私立中学校へ行くと玉幡中の人数が少なくなるということと、玉幡地域も開発が進んでいますので、家を建てるとなると、小学校に入学するときに家を建てるという傾向もあるかと思います。そうすると低学年が増えているという印象もあるのですが、先日学校訪問に行った時の6年生は2クラスで、今後入ってくる方は増えていて4クラスになる可能性が出てきまして、下の方が少し増えています。現在、教育総務課でも対応しているところですね。

事務局 玉幡小学校につきましては、毎年児童の推移や合計数を見ていまして、来年辺りから少し教室が不足するのではないかとということもございしますので、現在、増築の設計をかけているところでございます。この設計は、

今年度に終わって、来年度からいよいよ増築するということなのですが、また数字が動いている可能性がありますので、その様子をみながら学校教育課等と話しながら増築するのかを検討します。先ほど教育長が申し上げたように、若い世代、新1年生などが増えています。前のクラスよりも多くのクラスがあるということなので、その辺りが増えているということだと思います。小学校の方は増えてきて、中学校はあまり増えていないのは、例えば私立の中学校に行っているなどそういう事情もあるのではないかと思います。

教育長 住民基本台帳だけでは、捉えきれないところがあります。当初は、竜王北小の方が、大分増えるのではないかとということでしたが、玉幡小の方が急遽増えました。そこは年次で見てもわかりません。急遽増えてしまうところではないかと思います。双葉東小周辺にも、また新たな20棟くらいの開発が進んでいますので、その中の半分の世帯に小学生がいたとしたら、すぐに10人くらい増えてしまいます。

委 員 先ほど、幼稚園はみんな私立というお話があったのですが、以前にしきしま幼稚園が公立でありましたが、今はもう無いのですか。

事務局 平成28年3月31日に閉園になりました。

委 員 認定子ども園もここに記載があるのは私立で、保育所は、甲斐市立の保育所がいくつかあるのですね。

事務局 それは、子育て支援課の所管です。

教育長 その他、ご意見、ご質問はございますか。

一 同 意見、質問なし。

(2) 令和6年度末市内中学校3年生進路状況報告

事務局 (資料説明)

委 員 1点質問で、県外の私立高校というのは、理由が卒業後の就職のためとなっているのですが、高校に行った後、そこで就職しなければいけないといった理由なのでしょうか。分かれば教えてください。

事務局 やはり個々の状況、どういった理由かといったところまでは、こちらで深く確認することが出来ないのですが、ここに表記がされている理由から推察することにはなるのですが、いずれ将来のことを考えての進学という判断であったと理解をしております。

委 員 不登校生徒の進学ですが、県立高校で不登校の子どもたちで、学力があ

る子どもたちを一定程度取るようにというお話があったと思うのですが、実際に不登校の子どもで、そのような枠の中での合格者というか進学者については、県の方で公表しているのでしょうか。公にはしてない、あるいは学校の方には伝えているのでしょうか。実際に不登校の生徒で、そういう枠で高校に進学をしている子どもの数がもし分かるようでしたらお伺いします。

事務局 お聞き直しをしてしまう形になってしまうかもしれないのですが、不登校の状況であった生徒が、その後進路をどのように取ったのかといった情報が発信されているかどうかとそのようなご質問でしょうか。

委 員 県立高校で不登校を理由にせず、不登校の子どもであっても、一定程度、合格するようにというようなお話があったと思うのですが、実際にそれに該当して、進学している子どもはどの程度いるのかと思いました。

事務局 制度として受け入れの幅が広がっているということについては、承知をしているところですが、まだ具体的な情報については得ることができておりませんので、そこはアンテナを高くして、今後、調査をしていきたいと思っております。

教育長 県にこの調査を提出したのはいつでしょうか。

事務局 こちらの提出が、5月13日が締め切りでした。

教育長 県の方でも集計途中ということですね。これからしばらくすると詳しい結果が出るということだと思います。C票を見ますと、不登校として報告しているお子さんが29人。その内全日制の高校に進学しているのが2人。通信制の高校には24人です。最終的には通信制に進学したのですが、例えばどこか他にも受験をしていたかなどの状況はわかりません。

委 員 わかりました。この数字を見れば、2人はその可能性がありますね。

教育長 そうですね。どのような枠で行ったかはわかりませんが。

事務局 もう1枚、A4の資料がございます。こちらが過去の中学3年生の進路状況ですので、参考までに御覧ください。この卒業者数の変動があるのですが、やはり通信制のところの数が伸びてきているというところと、ある程度のところで、横ばいに推移をしているというような状況がみて取れると思います。またこちらもご覧いただきたいと思います。

教育長 その他、ご意見、ご質問はございますか。

一 同 意見、質問なし。

(3) 令和7年度学校運営協議会委員の任命について

事務局 (資料説明)

委 員 双葉西小と双葉東小の委員さんですが、この先生は、本年度異動になり、双葉東小の所属になっているのですが、双葉西小の一番下にも書いてあります。双葉東小と双葉西小の両方で重複していませんか。

事務局 確認をさせていただきたいと思いますが、所属としましては双葉東小学校の職員という形でご参加をいただいております。双葉西小学校に関しては、地域の方としてご協力をいただいているということが考えられますので、そこは確認をしておきたいと思います。

委 員 そういうことですね。わかりました。

委 員 こちらは、給食運営員会と違い設置条例が無いということでしょうか。学校で委員を選んでいるのでしょうか。

事務局 学校運営協議会規則が作成されておりますので、そちらに基づいて作っているものになります。

委 員 分かりました。添付が特になかったので、学校ごとに選んでいるのかというように推測したのですが、最年少の34歳の方は学校の先生でいらっしゃるのかと思うのですが、おそらく中学校の先生でしょうか。学校によって、教頭先生だったり教務主任の先生だったりするのですが、中学校は、若い先生にも入っていただくという考えで選んだかもしれませんが、それも良いと思いました。

教育長 規則には、管理職でなければいけないという規定はありません。学校職員であれば良いです。

事務局 委員は校長先生が推薦することになります。

教育長 市教委では、推薦された者について規則に合っていれば任命します。具体的な学校の考え方については、こちらでは把握しておりません。今後は資料に規則を添付したいと思います。

事務局 規則については、失礼いたしました。添付するようにいたします。学校長が推薦をする中で、学校運営の方針といいますか、例えば校務分掌という役割を持った教員がいるのですが、そのような適性なども判断の材料になるのではないかと考えておりますが、確認をしておきたいと思います。

教育長 その他、ご意見、ご質問はございますか。

一 同 意見、質問なし。

(4) 6月の行事予定について

事務局 (資料説明)

教育長 ご意見、ご質問はございますか。

一 同 意見、質問なし。

○閉 会

教育長 本日、本定例会に付議された議案の審議を全て終了したので本定例会の閉会を宣する。(午後2時50分)